

平成28年度第3回福岡県立公文書館運営専門協議会
平成28年度第3回福岡県市町村公文書館運営専門協議会

平成29年3月2日(木) 14時～15時
福岡共同公文書館 会議室

次 第

- 1 開会 進行：田中副館長
- 2 議事 議事進行：大濱会長
- (1) 平成28年度事業報告について
事務局から報告を行い、協議の結果、了承を得た。
- (2) 平成29年度事業計画(案)について
事務局から説明を行い、協議の結果、了承を得た。
- (3) その他
特になし
- 6 その他
特になし
- 7 閉会

I 平成 28 年度 事業報告

1 受入・整理・保存事業 (H29.1.31 現在)

受入文書数 (単位: 冊)

※累積データ、() は本年度分

ア 県文書

	搬入済	整理中	返還・廃棄	配架済
歴史公文書 (長期)	(1,434) 16,523	(1,003) 1,003	(0) 0	(443) 15,520
歴史公文書 (有期)	(44) 16,677	(1) 1	(0) 0	(1,672) 16,676
行政資料	(1,956) 22,643	(0) 0	(0) 0	(1,956) 22,643
合 計	(3,434) 55,843	(1,004) 1,004	(0) 0	(4,071) 54,839

イ 市町村文書

	搬入済	整理中	返還・廃棄	配架済
歴史公文書 (長期)	(2,207) 17,058	(2,065) 2,065	(5) 1,545	(305) 13,448
歴史公文書 (有期)	(1,604) 17,983	(961) 961	(119) 5,005	(969) 12,017
行政資料	(2,902) 5,599	(0) 0	(0) 0	(2,902) 5,599
合 計	(6,713) 40,640	(3,026) 3,026	(124) 6,550	(4,176) 31,064

ウ 総計

	搬入済	整理中	返還・廃棄	配架済
歴史公文書 (長期)	(3,41) 33,581	(3,068) 3,068	(5) 1,545	(748) 28,968
歴史公文書 (有期)	(1,648) 34,660	(962) 962	(119) 5,005	(2,641) 28,693
行政資料	(4,858) 28,242	(0) 0	(0) 0	(4,858) 28,242
合 計	(10,147) 96,483	(4,030) 4,030	(124) 6,550	(8,247) 85,903

2 利用に関する事業 (H29.1.31 現在)

(1) 閲覧利用事業

ア 来館状況

年 月	開館日数 (日)	来館者数 (人)	来館者数平均 (人/日)	利用者数 (人)	
				展示室	閲覧室
平成28年 4月	25	295	12	272	275
平成28年 5月	23	392	17	361	349
平成28年 6月	26	55	2	27	34
平成28年 7月	26	273	11	188	28
平成28年 8月	25	295	12	245	143
平成28年 9月	20	144	7	131	40
平成28年10月	19	74	4	57	28
平成28年11月	24	82	3	59	38
平成28年12月	22	47	2	28	15
平成29年 1月	22	105	5	99	84
合計 (平均)	232	1,762	(8)	1,467	1,034
前年同期合計	243	2,445	(10)	2,031	1,383

イ 出前展示

期 日	場 所	内 容	来場者
平成29年1月30日 ～2月12日	アクロス福岡 1階 コミュニケーション エリア	パネル展 ～みんなおいでよ！ 公文書館へ～	5,605

ウ 特定歴史公文書利用状況

年 月	利用請求									行政利用				合計				
	県				市町村				うち自治 体間利用		県		市町村		県		市町村	
	一般請求		簡易閲覧		一般請求		簡易閲覧		件数	冊	件数	冊	件数	冊	件数	冊	件数	冊
平成28年 4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	
平成28年 5月	1	3	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	4	3	5	1	4	
平成28年 6月	0	0	1	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2	
平成28年 7月	3	34	0	0	2	12	0	0	0	0	0	0	0	3	34	2	12	
平成28年 8月	3	14	4	13	2	19	1	26	1	12	1	1	0	0	8	28	3	45
平成28年 9月	1	13	0	0	2	5	0	0	0	0	0	1	2	1	13	3	7	
平成28年 10月	3	46	0	0	1	14	0	0	0	0	2	4	0	0	5	50	1	14
平成28年 11月	2	12	1	3	3	53	0	0	0	0	1	3	0	0	4	18	3	53
平成28年 12月	2	5	0	0	1	39	1	4	0	0	2	5	0	0	4	10	2	43
平成29年 1月	1	3	0	0	0	0	0	0	0	2	8	1	7	3	11	1	7	
合計	16	130	7	19	12	144	2	30	1	12	10	23	3	13	33	172	17	187
前年同期合計	16	168	5	14	7	30	1	3	2	6	9	75	14	174	30	257	22	207

エ 研修室利用状況

	一般利用		視察対応		自主事業		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
平成28年 4月	0	0	4	254	0	0	0	0	4	254
平成28年 5月	0	0	3	290	1	33	0	0	4	323
平成28年 6月	0	0	1	7	0	0	1	4	2	11
平成28年 7月	0	0	0	0	3	73	0	0	3	73
平成28年 8月	0	0	0	0	1	41	0	0	1	41
平成28年 9月	0	0	0	0	2	13	0	0	2	13
平成28年 10月	1	16	0	0	0	0	0	0	1	16
平成28年 11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成28年 12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成29年 1月	0	0	1	11	1	55	0	0	2	66
合計	1	16	9	562	8	215	1	4	19	797
前年同期合計	4	224	16	753	5	233	0	0	25	1,210

オ 会議室利用状況

	一般利用		視察対応		自主事業		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
平成28年 4月	1	7	0	0	0	0	0	0	1	7
平成28年 5月	0	0	0	0	2	8	0	0	2	8
平成28年 6月	0	0	0	0	1	4	0	0	1	4
平成28年 7月	4	63	2	4	3	3	0	0	9	70
平成28年 8月	0	0	2	9	1	9	0	0	3	18
平成28年 9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成28年 10月	0	0	1	5	0	0	0	0	1	5
平成28年 11月	0	0	1	1	1	5	0	0	2	6
平成28年 12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成29年 1月	0	0	0	0	1	2	0	0	1	2
合計	5	70	6	19	9	31	0	0	20	120
前年同期合計	14	89	10	27	6	21	3	10	33	147

カ レファレンスの状況

	利用手段 (件)			合計 (A)+(B)+(C)
	来館 (A)	電話 (B)	電子メール等 (C)	
平成28年 4月	3	2	3	8
平成28年 5月	2	3	1	6
平成28年 6月	1	3	2	6
平成28年 7月	6	3	4	13
平成28年 8月	4	3	1	8
平成28年 9月	5	7	0	12
平成28年 10月	4	2	2	8
平成28年 11月	3	3	1	7
平成28年 12月	1	4	1	6
平成29年 1月	4	1	1	6
合計	33	31	16	80
前年同期合計	20	53	12	85

キ 特定歴史公文書のデジタル化状況

※デジタルデータ化した画像の公開

年度	冊	コマ	内容
28	62	8,047	デジタルデータ化した文書の表紙・目次等をホームページから閲覧できるよう公開

(2) 利用促進事業

ア 企画展の開催状況

【第1回企画展】

テーマ：「戦争と人々の暮らし ～残された公文書と戦時資料～」

期 間：平成28年7月20日～9月25日

場 所：展示室

観覧者：532名

【第2回企画展】

テーマ：「国立公文書館所蔵資料展 ～公文書で再発見！ 近代日本と福岡のあゆみ～」

期 間：平成29年2月21日～3月19日

場 所：展示室

観覧者：－名

イ 講演会の開催状況

【講演会①】

テーマ：「戦時下の働く女性と子どもたちの暮らし」

開催日：平成28年7月31日（日）

時間：14時～15時30分

講師：昭和館 学芸部学芸課資料係 吉葉 愛氏

参加者：56名

内容：戦前・戦中の働く女性や戦時下の子どもたちの暮らしについて当時の写真、絵、日記を用いて説明していただいた。

【講演会②】

テーマ：「明治日本の近代化とローカルなネットワーク
～文書史料が語る官民の摩擦と協調～」

開催日：平成29年2月25日（土）

時間：14時～15時30分

講師：福岡市博物館長 有馬 学氏

参加者：64名

内容：明治日本の基礎を作った「地方の時代」や当時の福岡県の状況について、企業家や政治家などの活動を紹介しながら説明していただいた。



ウ 講座の開催状況

【講座①】

開催日：平成28年8月27日（土）

時間：13時～15時30分

講師：福岡女子短期大学准教授 倉本 優子氏

学生ボランティア8名

参加者：30名（親子13組）

内容：和本の種類等について学んだ後、親子で「四つ目綴じ」の和綴じ手帳を作っていたいただいた。また、館内見学会を実施し、選別室や文書保存庫などを見学していただいた。

【講座②】

テーマ：「はじめてのくずし字」

開催日：平成29年1月21日（土）

時間：14時～16時

講師：福岡共同公文書館 相談員 荻野 寛美 氏

参加者：55名

内容：くずし字学習の基礎となる仮名文字の読み方、くずし字辞典の使い方などを初心者向けに紹介した。また、館内見学会を実施し、閲覧室やバックヤードなどを見学していただいた。



エ 視察・見学の受入状況

(月別集計)

	件数	人数
平成28年 4月	6	259
平成28年 5月	4	305
平成28年 6月	2	9
平成28年 7月	3	9
平成28年 8月	5	51
平成28年 9月	0	0
平成28年 10月	1	5
平成28年 11月	3	7
平成28年 12月	1	3
平成29年 1月	1	11
合計	26	659
前年同期合計	41	848

(利用者区分別集計)

区 分	件数	人数
県内自治体職員	13	534
行政職員	12	529
公文書館関係者	1	5
その他	0	0
国・県外自治体職員	5	16
行政職員	4	13
公文書館関係者	1	3
議会関係者	0	0
教育・学校等関係者	2	8
図書館関係者	0	0
博物館関係者	0	0
学校関係者	2	8
区長等行政関係団体	0	0
その他	6	101
合計	26	659

オ インターンシップの受入れ

期 間	受入れ人数
平成 28 年 7 月 29 日～8 月 4 日（うち 5 日間）	1 名
平成 29 年 2 月 24 日～3 月 2 日（うち 5 日間）	2 名

カ 研修会（市町村文書事務担当課長会議）

年度	内容	期日	受講者
28	文書事務の事例紹介 【講師】志免町総務課職員 「志免町の文書管理と 公文書館への移管」	平成 29 年 2 月 22 日	48 名

平成 28 年度福岡共同公文書館パネル展～みんなおいでよ！公文書館へ～

○期 間：平成 29 年 1 月 30 日（月）～2 月 12 日（日）（14 日間）

○展示時間：10:00～18:00（最終日は 16:00 まで）

○場 所：アクロス福岡 1 階コミュニケーションエリア
（福岡市中央区天神 1-1-1）

○来場者数：5,605 名（1 日平均 400 名）

（※コミュニケーションエリアは、アクロスのイベント時などに一般客が待合室として利用する共有スペースでもあるため、パネル展示観覧のみを目的とする来場ではない。）

○広 報：2/1 西日本新聞、アクロス福岡広報誌「ACROS」1 月号・2 月号
フリーペーパー「ぐらんざ」、アクロス福岡ホームページ ほか

○展 示 物：パネル 13 枚、国立公文書館所蔵資料展ポスター 1 枚

※期間中、会場内喫茶店の大型スクリーンにて当館紹介 DVD（子ども用・約 10 分）を放映（40 分に 1 回）



【来場者からの感想や意見】

- ・パネル展の新聞記事を見て来ました。
- ・公文書館は J T 九州工場の近くにある館ですね。
- ・共同公文書館の場所はどこですか。交通機関を教えてください。
- ・特別展に興味を持ちました。
- ・2 月 2 5 日の講演会に参加したい。

Ⅲ 平成29年度事業計画(案)

平成29年度事業の基本的な考え方

福岡共同公文書館は、平成29年度に開館5周年を迎える。これまでの成果を総括するとともに、今後の課題解決に取り組む契機し、市町村及び県行政委員会からの移管促進や住民等の利用促進、調査研究について、創意工夫しながら実施するものとする。

1 受入れ・整理・保存事業

(1) 受入れ

ア 県文書

- ① 長期文書及び新たに保存期間の経過する有期限文書を受け入れる。
- ② 知事部局以外の行政機関のうち、未だ移管がなされていない議会、選挙管理委員会、人事委員会に対して、積極的に文書移管の協議を行う。

イ 市町村文書

- ① 長期文書及び新たに保存期間が満了する有期限文書を受け入れる。
- ② 市町村への現地選別に本格的に取り組み、各市町村の状況に合わせた柔軟な方法により現地選別を行う。
- ③ 一次選別の精度向上を図るため、市町村の文書担当課だけでなく、市町村各課に対しても職員研修会等を実施し、市町村職員の歴史公文書への認識を高める。

(2) 整理

ア 二次選別及びデータ整備

平成28年度に移管された文書で、平成29年度に整理を持ち越したものについて、優先的に処理を進める。

イ 選別会議の実施

保存すべき文書の決定に当たっては、選別会議を実施し、評価選別基準に基づき選別する結果において自治体間の均衡を保つ。

ウ 保存文書の整理

平成28年度に県文書の蔵書点検を行った。平成29年度は、市町村文書について、特別整理期間を設けて、蔵書点検を行いたい。

(3) 保存

ア 燻蒸

公文書館にて保存することが決定した文書については、文書保存庫に配架する前に、文書に有害な害虫の殺虫・殺卵や文書の殺菌を目的として燻蒸処理を行う。

イ 文書保存庫のモニタリング

虫害の被害防止を目的として、文書が配架された文書保存庫において有害生物の生息等調査を行う。

ウ マイクロフィルム化

感熱紙や青写真のページを50%以上含んだ文書については、文字が消失しやすいため他の文書に優先してマイクロフィルム撮影を行い、利用にはワーキングテープを用いることにより原資料を保護する。

エ 補修・製本

虫損、経年劣化等の激しい文書について、補修を実施し、簿冊としての利用に支障がある文書については、製本を実施する。

2 利用に関する事業

(1) 閲覧利用事業

ア 閲覧、複写サービス及びレファレンス

利用者に対して、利用請求等に基づき特定歴史公文書及び行政資料の提供を行い、求めに応じて複写サービスを行う。また、利用者が目的の文書を見つけられるよう、窓口や電話、電子メール等において照会・相談を受ける。

イ 行政利用

移管元自治体等に対して、簡易な手続により閲覧及び借覧を行う。

ウ デジタルアーカイブ

平成28年度に企画展示等において展示した文書、利用請求及び行政利用によって利用された文書などについて、デジタル化を行いホームページで公開する。

エ 資料の貸出等

収蔵資料（特定歴史公文書及び行政資料）は県内外の博物館・資料館等の展示会へ貸し出しに応じるなど、積極的な活用を図る。

(2) 利用促進事業

ア 企画展示

① 第1回企画展（案）

テーマ：検討中

期間：平成29年7月19日（水）～9月24日（日）

イ 5周年記念事業（案）

① 記念イベント

期 日：平成29年11月18日（土）

内 容：

- ・福岡ゆかりの書家によるパフォーマンスと子ども太鼓グループの共演

【場所】公文書館 正門前駐車場及びエントランス

- ・講演会及びシンポジウム

【テーマ】「アーカイブズが築く未来 ～共同公文書館のチャレンジ～」

【基調講演】大濱徹也氏

【シンポジウム】パネリスト3名、コーディネーター1名

② 特別企画展

期 日：平成29年11月18日（土）～平成30年1月

内 容：目玉資料として、国立公文書館等が所蔵している貴重資料を借用し、「炭鉱と鉄道（仮題）」をテーマとした展示を行う。あわせて、共同公文書館の設立やこれまでの企画展をパネル展示し、全国初の共同方式により設置・運営を行っている公文書館の5年間のあゆみを紹介する。

ウ 常設展示

4月～6月、10月、2月～3月を予定。

エ 講演会

企画展示会のテーマと連携し、講演会を実施する。

オ 公開講座

特定歴史公文書の利用に繋がるテーマを設定し、公開講座を開催する。特に、和綴り講座などの体験型講座を開催するとともに、講座にあわせた施設見学会を実施するなど、公文書館についての理解を深める工夫をする。

カ 施設見学の積極的な受入れ

施設見学を積極的に受入れることで、公文書館の役割や共同設置の意義を県民に周知する。また、見学受入れに関する広報活動にも取り組む。

キ 学校教育機関や社会教育団体等との連携

社会科等の教科学習の場や総合学習（職場インタビュー・職場経験）等で児童又は生徒を、また、大学のインターンシップを積極的に受け入れる等、教育機関等との連携を図る。加えて、社会教育団体や地縁団体等の多様な組織の見学を積極的に受け入れ、地域に開かれた公文書館の運営に努める。

ク 広報活動

年報、公文書館だよりを発刊し、公文書館の企画展示、利用状況、収蔵資料等について県民に広く周知する。また、企画展に合わせて積極的にパブリシティを利用した広報活動を行う。さらに、過去の企画展示の内容紹介など、公文書館ホームページの内容充実を図り情報発信力を高める。

3 保存等に関する研究等

保存、利用及び移管に関し、以下のうちから適宜優先順位を設け検討し、調査研究等に取り組む。

- ① 電子文書等の移管に向けた調査
- ② 利用普及活動に向けたアンケート調査の実施及び分析
- ③ 所蔵資料に関する調査研究

4 県及び市町村職員に対する研修会の実施

各自治体の適切な文書管理と職員の評価選別能力の向上に向け、各自治体職員に対する文書管理等に係る研修を公文書館において実施する。また、市町村新規採用職員研修を受け入れる。

5 専門性を持った人材の養成

本館の業務は、的確な評価選別や利用者への相談業務、調査研究業務など、広い分野の知識を有する必要があることから、その専門性の養成に当たり、国立公文書館が主催する専門職員養成課程研修等に計画的に職員を参加させる。

6 運営会議の開催

共同公文書館の運営に関して、福岡県と福岡県自治振興組合と重要な事項について調整を行うため、運営会議を開催する。

開催時期については平成29年度当初とし、平成28年度事業の報告及び平成29年度事業の計画について説明を行う。

7 運営専門協議会の開催

公文書館の運営に関して、専門的見地からの意見を求めるため、福岡県立公文書館運営専門協議会及び福岡県市町村公文書館運営専門協議会を合同開催する。

8 国立公文書館等類縁施設との連携・協力

国立公文書館デジタルアーカイブへの参加を継続し、引き続き国立公文書館等類縁施設と連携を図り、利用者の利便性の向上に努める。

福岡県公文書館等連絡会議を開催し、情報交換や展示事業等の連携を推進する。